

# 地域包括ケア町内連携会議

## ～部局横断的に地域づくりをすすめる取り組み～

住民主体の地域づくりや住民サービスが地域包括ケアに向けて一体的に取り組んでいけるよう、部局を超えて話し合う場を設置し、少しずつではありますが内容も充実してきています。

# 地域包括ケア庁内連携会議

～部局横断的に地域づくりをすすめる取り組み～

吉野町 長寿福祉課



### 1 経緯

「地域包括ケア」は長寿福祉課だけが担当ではない！

会議では新たな事業化・サービス提供を目標にするのではなく、お互いの業務の中で上がっている地域課題について担当課を超えて考え、得られた気づきについてそれぞれが業務の中で取り組むことを目標として平成28年度に開始した。

背景にあった問題

高齢者の生活実態が反映できているか？

ごみ戸別収集

町営住宅

手続き

交通

活動の機会

同じような取り組み

自治協議会

協議体

### 2 これまでの経過

H28

- ・地域包括ケアの説明
- ・業務で感じる地域課題について意見交換

H29

- ・協議体の進め方についての説明と意見交換
- ・庁内連携会議の目的や協議内容を整理

自治協議会  
1か所

総務、総合政策、環境、住宅、住民窓口、社会教育等の課長で構成



テーマが広すぎる…

地域包括ケア庁内連携会議協議の柱

～会議の目的～

人生の最期まで吉野町で幸せに暮らせるための役場庁内と関係機関の連携

### 3 現状

長寿福祉課からの働きかけ

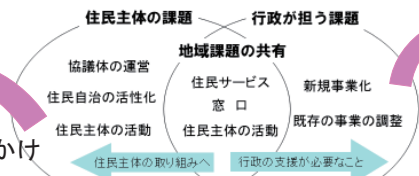
H30

- ・課内で自治協と協議体の関連を整理
- ・自治協担当課との情報交換

H31

- ・定期的な情報交換と共通課題の協議(2か月に1回)

担当者間で協議体と自治協の理解が一致しているか、自治協の動きが見えない、自治協担当者に協議体が理解されているか、などの疑問から、課内協議を経て自治協担当者や社協との協議、さらに交通の課題の協議へと発展。



ごみ収集現場からの課題がきっかけ。

ごみ戸別収集担当課と

- ・認知症の方の分別支援
- ・見守りの充実

サービス担当者会議への参加へ。

自治協議会  
4か所

自治協議会担当課  
社協と

自治協議会4か所  
準備団体2か所

公共交通担当課  
社協と

- ・移動手段の整備

地域づくりと交通の一体的検討へ。

### 4 考察

会議で課題や疑問を提示することで他課で共通の課題が上がっていることや、長寿福祉課の動きを踏まえた対応をとってくれていることが見えてきた。

当初は効果的な協議ができなかった全体での会議も、庁内連携の役割整理によって会議の役割が明確になり、連携が必要な課題別協議へと転換することができたと考えられる。

〔今後の課題〕

- 地域ケア会議個別事例検討で得られた地域課題と自治協議会や協議体との連動
- 限られた人材資源の中で効果的に地域づくりを推進していけるよう、既存の事業や活動、ひとが自治協議会や協議体とつながっていくための具体的働きかけ

